allcinema

フレンチ・カンカン（1954）

FRENCH CANCAN
ONLY THE FRENCH CAN

メディア　映画
ジャンル　ミュージカル　ドラマ　コメディ
製作国　フランス
色彩　Color
時間　102分
初公開日　1955/08/26
公開情報　東和
リバイバル　1999/06［ザジフィルムズ］

【解説】

ハリウッド製ミュージカルのひたすら上向きな幸福感とはまた違った、酸いも甘いもかみわけた大人の音楽喜劇として、膨らみのある幸福感に浸らせてくれる、ルノワールの傑作オペレッタ。彼が１５年ぶりに祖国フランスで撮影した作品で、「大いなる幻影」以来のギャバンとの仕事でもある。１８８８年のパリで上流向けのクラブを営んでいたダングラールは、下町のキャバレーで見初めた踊り子ニニ（アルヌール）に触発され、自分の店を処分し、その店“白い女王”を買い取り、カンカンの復活を軸とした新しいショウを見せる娯楽の殿堂にしようと画策。が、女性にもてる彼をめぐって、以前の店からのスター、ローラとニニが衝突を繰り返し、ローラに気のある出資者が援助を止めたりして、なかなか計画通りにいかない。ニニにはポウロというパン職人の恋人があったが、嫉妬深い彼よりダングラールの渋さに参ってしまった。そんな彼女に秘かに焦がれて自殺まで図ったアラブの王子は、彼女との一度の逢瀬に満足して、その支援で何とか店も開店に漕ぎつけた。が、ショウの本番の直前、他の歌手にちょっかいを出すダングラールに腹を立て、ニニは楽屋にこもってしまう。けれども、観客の彼女を呼ぶ声に押し出されるようにフロアに出て、仲間と共にフレンチ・カンカンを快活に歌い踊るのだった。パリの名物だったムーラン・ルージュの由来を描いており（創始者ジドレルの名は変えられている）、ピアフを始めとするシャンソン歌手たちのゲスト出演も楽しみ。ラストのカンカンの勢いに魂を奥底から鼓舞され、ヴォケールの歌う主題曲“モンマルトルの丘”の楽しく、どこか感傷的なメロディには幸せな涙を流す、そんな作品だ。

【クレジット】

監督	ジャン・ルノワール	Jean Renoir	
製作	ルイ・ウィフ	Louis Wipf	
脚本	ジャン・ルノワール	Jean Renoir	
撮影	ミシェル・ケルベ	Michel Kelber	
編集	ボリス・レウィン	Borys Lewin	
音楽	ジョルジュ・ヴァン・パリス	Georges Van Parys	
出演	ジャン・ギャバン	Jean Gabin	アンリ・ダングラール
	フランソワーズ・アルヌール	Francoise Arnoul	ニニ
	マリア・フェリックス	Maria Felix	ローラ
	アンナ・アメンドラ	Anna Amendola	エステル・ジョルジュ
	ジャン＝ロジェ・コーシモン	Jean-Roger Caussimon	ヴァルテル男爵
	ドーラ・ドール	Dora Doll	ラ・ジェニス
	ジャンニ・エスポジート	Giani Esposito	アレクサンドル王子

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

フィリップ・クレイ	Philippe Clay	カシミール
ミシェル・ピッコリ	Michel Piccoli	ヴァロゲイル
ジャン・パレデス	Jean Paredes	クーリエ
ヴァランティーヌ・テシエ	Valentine Tessier	ニニの母
エディット・ピアフ	Edith Piaf	ユージン
パタシュー	Patachou	イヴェット・ギルベール
アンドレ・クラヴォー	André Claveau	ポール・デルメ
ジャン・レイモン	Jean Raymond	パウラス

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.